

令和6年度「マリンバイオテクノロジー学会 秋のシンポジウム」報告

2024年11月29日（金）16時より、東京農工大学小金井キャンパス新1号館グリーンホールにてマリンバイオテクノロジー学会若手の会の主催する「秋のシンポジウム」を開催し、2名の招待講演者を含む47名の方にご参加いただきました。

国立研究開発法人産業技術総合研究所生物プロセス研究部門の玉木 秀幸先生には「Cultivation Renaissance: ポストメタゲノム時代の未知微生物探索研究」と題し、地球上に存在する微生物の多くは、分離株の未だに得られていない“未知なる生き物”であり、種々の分離培養あるいは集積培養によって未知の微生物を得ること、それらの有する機能を明らかにすることの醍醐味について、ご講演いただきました。

横浜薬科大学薬学部の谷 英典先生には「隠されていた RNA ワールド」と題し、RNAに関する研究ではタンパク質の情報を持つ mRNA が着目され、その情報を持たない領域は長らく焦点が当たらなかつたが、ゲノム解析技術等の進展に伴い、この領域に存在する長鎖ノンコーディング RNA が注目されるようになり、長鎖ノンコーディング RNA の解析技術やその重要性を見出してきた研究成果について、ご講演いただきました。

本学会に日頃より参加されている方には耳慣れない内容もあったかもしれませんが、先生方の興味深いご講演により、学生からの質疑応答も活発になされる等、聴講された皆さまの関心を集め、今後の研究に向けて新たな視点や良い刺激を得られたのではないかと考えています。



講演会の様子 新1号館グリーンホール

また講演会後には、同大学の食堂にて意見交換会も開催しました。岡田副理事の乾杯で始まった会は、招待講演者を含む多くの方々にご参加いただき、他大学の教員や学生間の交流が行われ、さらには招待講演者の先生方にお話を伺う学生も多く見受けられるなど、賑やかなものとなりました。

至らぬ点もあったかと存じますが、ご参加いただいた皆さまの知的好奇心を刺激し、楽しんで頂けたのであれば幸いです。

（企画責任者 東京農工大学 モリ テツシ、東京海洋大学 寺原 猛）